

2020 新年会開催



新年講演会と交流会を令和2年2月12日松江エクセルホテル東急で開催しました。令和の時代になり初めての新年会でした。冒頭の主催者挨拶で、吉岡宏代表理事会長は、業界の人材不足に触れ、将来の人材確保のため、県教育長や県立大学学長に面会し、人材育成への協力支援を新たに行ったことを報告しました。

講演会は、Society5.0 や DX が叫ばれる中、地域のIT産業がどうあるべきか考える機会とするため、総務省地域情報化アドバイザーであり、デジタルトランスフォーメーション推進協会代表理事である森戸裕一氏に「デジタルトランスフォーメーションで一変する産業構造とビジネス環境」と題して講演していただきました。



森戸氏は、講演のなかで、5G等通信環境の劇的な変化とスマホの普及で、東京に集中するICT人材が地方に移動する時代を迎えていること、コスト競争時代から付加価値創出の競争時代を迎えること。こうしたなかで、必要とされることは、連携と変容～つながることと変わること～であり、わくわくすることが付加価値創造の力となると力説されました。もはや、東京をはじめとする都会地がリードする時代ではなく、価値創造が可能な地域が生き残る、先進となりうる時代を迎えていることを改めて実感できた熱のこもった講演でした。

交流会は、講演会に引き続き、90名の参加で行いました。井上浩代表理事の開宴挨拶の後、中国経済産業局大倉司郎参事官、島根県議会高橋雅彦農水商工委員会長、島根県新田典利商工労働部長、松江市星野芳伸副市長に挨拶を頂き、しまね産業振興財団藤間博之代表理事副理事長に乾杯の音頭を頂きました。交流会の席上、新たに会員社の代表となられた TSK ネクスト代表取締役社長戸谷弘明氏、TSK 情報システム代表取締役社長舟木透氏、コンピュータコンサルタント代表取締役佐々木進氏の三氏に挨拶を頂きました。令和になり初めての新年会ということもあり、島根の地酒四銘を楽しみながら、談笑尽きることがありませんでした。

交流会の締めは、北村功代表理事副会長の音頭により、闘魂溢れた「ダァーッ」で、島根 IT 産業の明日に向け、心を一つにしました。

